



節分

～鬼がやって来た～

老人保健施設もえぎ まつば棟 高木洋介



令和6年2月7日、毎年恒例となった節分イベントが開催されました。職員が鬼に扮して利用者様の元へ行き「ガオー!」と利用者様を怖がらせました。「嫌だー!」「気持ち悪い!」などの声が聞かれました。コロナをはじめインフルエンザなど感染症が流行する冬。無病息災、厄除けの意味も込めて、丸めた新聞紙を鬼に投げて「鬼は外〜!」利用者の皆さんが身を乗り出して大きな声で鬼を成敗。「こりゃ〜たまらん!皆さんごめんなさい!」見事、鬼を退治しました。「福は内〜!」今年も利用者様と、もえぎに福が訪れそうです。

令和6年介護保険報酬改定に伴う料金変更のお知らせ

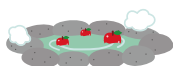
令和6年4月から介護保険報酬改定に伴い、入所及び短期入所療養介護サービスのご利用料金に変更になりました。6月からは通所リハビリテーション及び訪問リハビリテーションのご利用料金も変更になります。

また、今般の食材高騰のため、食費を1食30円増額とさせていただきました。

ご利用者様・ご家族様へは順次ご案内・ご説明等を実施しているところですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。



りんご湯



令和6年2月26日～28日の3日間にわたり、もえぎレク係で季節のお風呂としてりんご湯を行い、利用者様に楽しんで頂きました。

入浴の際に、りんごを見て「わあ!りんご」と驚く声や、手に取って見ながら、他の利用者様と楽しい会話が弾んでいました。



通所リハビリテーション

通所リハビリテーションの水曜日のレクリエーションでは、毎年干支の飾りを作成しています。今年は「辰年」の飾りを作成しました。飾り用にお花紙で玉や、背景用にこよりを作ったりと、ご利用者様皆さんで作業を分担しました。完成した際には、「これは上手くできたね」などの達成感を感じさせる感想も聞かれました。



『もえぎ』に込められた思いとは……

老人保健施設もえぎは平成8年8月8日に中野市をはじめ近隣市町村の皆様のご要望とご支援によって開設されました。

草木が芽を出す、芽吹き of 的生命感。大きく茂った木のしげみからまれ差し込んでくる陽の光、木もれ日のやさしさ。これが「もえぎ」です。

運用指針(故磯村院長提唱)

—これから心をみつめて生きるために—

① ノーマライゼーション

施設を利用される方が可能な限り普通の高齢者の日常生活に近づけるように援助する。

② コミュニティ

地域の福祉・医療・保健に携わる方々と綿密な連携をとる。

③ パートナースhip

施設のスタッフはお互いの仕事を援助し合い、和をもってチームワークをはかる。

新人紹介

4月から9名の職員が赴任しました。皆さんよろしくお願いします。



【かえで棟 介護福祉士】

久野 嘉泰



【まつば棟 介護福祉士】

湯本 隆嗣



【理学療法士】

関塚 祐



【理学療法士】

大熊 隆雅



【作業療法士】

徳竹 正行



【理学療法士】

柄澤 宏貴



【管理栄養士】

宮澤 祥代



【管理栄養士】

田川 み緒



【事務】

富岡 真文

編集後記

寒さの厳しい「冬」から、急激な気候変動を経て「春」が訪れました。近年、春の短さを感じています。地球温暖化の影響でしょうか? 昨年は「地球沸騰化」なんて言葉が流行語にノミネートされました。身体が気候になれず、体調を崩しやすい時期ではありますが休息を取りながら過ごして頂ければと思います。